

宇高第476号
宇中第1007号
令和7年(2025年)6月3日

関係学校長 様
関係各位

熊本県立宇土高等学校
熊本県立宇土中学校
校長 山本 信一郎

UTO Well-Being 探究 Award 2025 及び探究の「問い」を創る授業研究会
(公開授業)の開催について(二次案内)

梅雨の候、貴職におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から本校の教育活動に格別の御厚情を賜り、心からお礼申し上げます。

さて、下記のとおり「探究の学び」を通じた交流の機会を企画しました。

つきましては、貴所属の職員・児童生徒・学生及び保護者の皆様の御参加について、ご高配の程をよろしくお願い申し上げます。

記

- 1 目的** 本校は、SSH 第Ⅲ期の研究開発課題を「ウェルビーイングを目指し、UTO-LOGIC を駆使して新たな価値を創る科学技術人材の育成」とし、全校体制で社会と共創するカリキュラムマネジメントに挑戦しています。本企画では、高校全生徒が取り組む「総合的な探究の時間」を代替する学校設定科目「ロジックプログラム」、中学校全生徒が取り組む体験活動「宇土未来探究講座」、全教科で取り組む探究の「問い」を創る授業、科学部をはじめとする部活動等の多様な「探究の学び」を披露し、多様な方々との交流を通して学習活動のブラッシュアップを図りたいと考えています。
- 2 日時・会場** 令和7年7月22日(火) 午前9時30分～午後4時10分
熊本城ホールメインホール(〒860-0805 熊本県熊本市中央区桜町3-40)
令和7年7月23日(水) 午前8時50分～午後12時10分
本校教室(〒869-0454 熊本県宇土市古城町63)
※22日のみ現地参加、オンラインどちらか選択することができます。
- 3 参加対象** 「探究の学び」に興味・関心をお持ちのすべての方
科学技術振興機構、熊本県教育委員会、全国 SSH 指定校、高等学校、特別支援学校及び小中学校の児童・生徒、保護者、教職員、大学、専門学校等の教育機関、研究機関、行政及び企業関係者
- 4 日程** 別紙のとおり
- 5 参加申込** 入場無料、当日参加可
座席配置の準備の都合上、以下のQRコード【参加申込】より事前申込の御協力をお願いします。なお、プログラムの一部のみの参加も可能です。事前申込の締切は令和7年(2025年)7月15日(火)です。事前にお申し込みいただいた方へは、7月16日(水)以降に、申込時に御入力いただいたメールアドレス宛にプログラムの詳細及びオンライン接続のリンクを順次お送りします。内容を御確認のうえ、当日御参観ください。

【参加申込】



【宇土中高 HP】



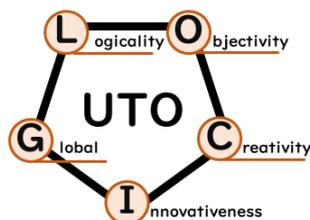
熊本県立宇土中学校・宇土高等学校
担当：SSH研究主任 内村 友哉
〒869-0454 熊本県宇土市古城町63
TEL：0964-22-0043 FAX：0964-22-4753
MAIL：uchimura-t@mail.bears.ed.jp

令和7年7月22日（火）熊本城ホール・メインホール開催

UTO Well-Being 探究 Award 2025

【概要】※22日は現地参加、オンライン配信から選択するハイブリッド型開催です

【育てたい力 UTO-LOGIC】



【本校が設定するウェルビーイングを目指す方向性】



中学段階：総合的な学習の時間「宇土未来探究講座Ⅰ～Ⅲ」における「野外活動」「地域学」「キャリア教育」の実践報告、高校段階：学校設定教科「ロジックプログラム」における各学年の成果発表及び構想発表、講演会、国内外で活躍する本校卒業生を交えたパネルディスカッション等を実施します。

【日程】

- 9:00 受付
□熊本城ホールロビーにて受付、オンライン参加者は Zoom 及び YouTube で配信
- 9:30 **開会行事**
□校長挨拶
- 9:45 **研究概要報告**
- 9:55 **高校科学部（物理班）研究発表**
□「秋口の溜め池が一夜にして濁る謎～全国どこでも発生可能性のある現象を解明～」
- 10:10 **中学校 学校設定科目「Junior Technology(J-tech)」の活動報告**
- 10:20 **中学校 学校設定科目「Junior Well-Being(JWB)」の活動報告**
- 10:45 **高校3年 課題研究成果発表①**
- 11:10 **「トビタテ！留学 JAPAN」の活動報告**
- 11:20 **中学校 「宇土未来探究講座」の活動報告**
- 11:35 **高校1年 ロジックリサーチ構想発表**
- 11:45 **高校2年 課題研究構想発表**
- 11:55 午前の部 終了
□～13:20 昼食・ポスターセッションの時間
- 12:20 **ポスターセッション①（25分間）**
□高校2年・中学3年課題研究構想発表
- 12:50 **ポスターセッション②（25分間）**
□高校3年課題研究成果発表
- 13:20 ウトウトタイム（午睡の時間）・午後の部 開始
- 13:30 **「未来体験学習（関東研修）」の活動報告・睡眠に関する研究発表**
□「ウトウトタイムを長くすると夜の睡眠に影響があるのか」
- 13:45 **高校3年課題研究成果発表②**
- 14:05 **高校科学部（地学班）研究発表**
□「ついにとらえた！神秘の火“不知火”の正体に迫る」
- 14:30 **講演会**
□「睡眠の謎に挑む～健やかな睡眠から始まるウェルネス～」
筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 機構長 柳沢正史 様
- 16:05 **閉会行事**



【ステージ発表の様子】



【ホールの様子】



【ポスターセッションの様子】

令和7年7月23日（水）熊本県立宇土中学校・宇土高等学校開催

探究の「問い」を創る授業研究会（公開授業）

【概要】※23日はオンライン配信、Zoom等、オンライン会議システム接続はありません。

教科の枠を越える学際的な理数教育、探究の「問い」を創る授業をデザインすることによって、新たな価値を創造するために探究の「問い」を設定することができる資質・能力を高めることをねらいとしています。当日は【I型】【II型】の2種類の公開授業を実施します。【I型】では①Well-Being(防災など含む)の視点を取り入れた授業、②探究の「問い」を意識した授業、③個別最適な学びを意識した授業、④協働的な学びを意識した授業、⑤一人一台端末を活用した授業、⑥観点別評価を意識した授業に関して、各教科が重視する観点①～⑥を意識した授業を実施します。【II型】では①教科の枠を越える教科横断型授業、②宇土中高ならではの学校設定科目の授業を実施します。

【日程】

受付

8:50 開会・概要説明

9:00 探究の「問い」を創る授業【I型】

10:10 探究の「問い」を創る授業【II型】

11:20 探究の「問い」を創る授業研究会

12:10 閉会



【公開授業の様子】



【授業研究会の様子】

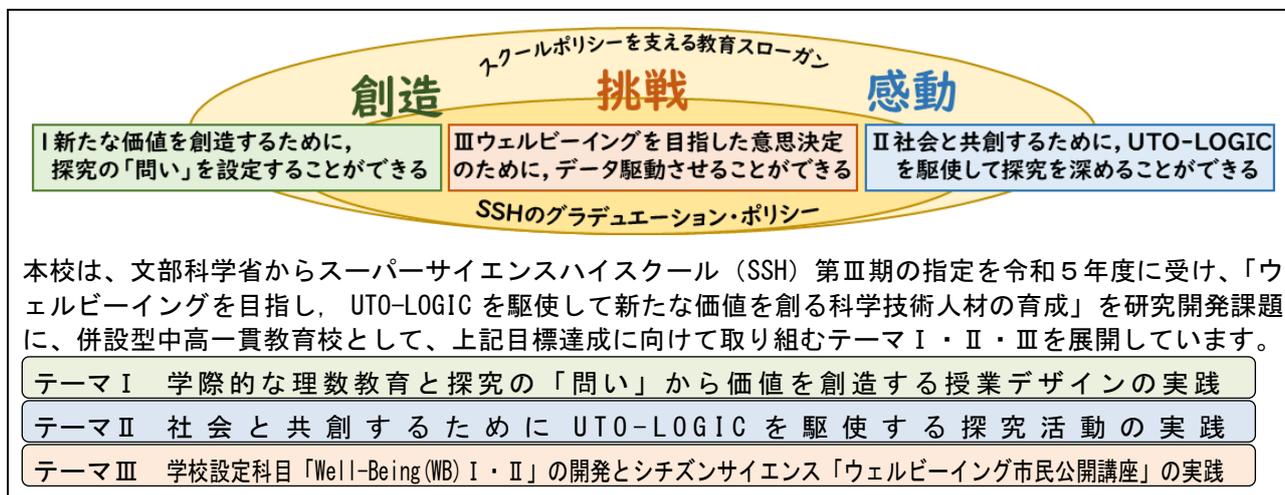
【探究の「問い」を創る授業・時間割：I型（全クラスで実施）】

1年	中①-1	中①-2	高1-1	高1-2	高1-3	高1-4	高1-5	高1-6
科目	数学	理科	英コミュI	現代の国語	Well-Being I	未来科学	現代の国語	探究数学I
担当	繁村	村嶋	水橋	吉本光	田尻+津田	井芹珠	緒方	山本
2年	中②-1	中②-2	高2-1	高2-2	高2-3	高2-4	高2-5	高2-6
科目	J-tech		地理総合	歴史総合	論理・表現II	保健	古典探究	探究数学II
担当	梶尾ST×福島ST		永吉	白石	小川	藤末	齊藤	川崎
3年	中③-1	中③-2	高3-1	高3-2	高3-3(社探)	高3-34(生物)	高3-5	高3-6
科目	国語	英語	論理国語	倫理	探科(地学)	探究生物	英コミュIII	探究化学
担当	石川	伊藤	廣田	西本	本多	後藤ST	中村雅	上中

【探究の「問い」を創る授業・時間割：II型（指定クラスで実施）】

	中②-1	中②-2	高2-3	高3-34(数学演習組)
科目	J-tech		Well-Being II	日本史×生物×数学
担当	梶尾ST×福島ST		田尻+大島	奥田ST×後藤ST×井芹洋
内容	水門ロボットプログラミング発表会	非常食配布プログラム	なぜ感染症の爆発的流行は起こるのか？～感染症を歴史学・生物学・数学の視点から考える～	

第Ⅲ期SSH研究開発の概要



氏名 柳沢 正史

所属

筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 (WPI-IIIS)

機構長・教授



【略歴】

- 1985年 筑波大学医学専門学群卒業
- 1988年 筑波大学大学院医学研究科 博士課程修了 (医学博士)
- 1989年 筑波大学基礎医学系薬理学 講師
- 1991年 京都大学医学部第一薬理学 講師
- 1991年 テキサス大学サウスウェスタン医学センター 准教授 兼 ハワードヒューズ医学研究所 准研究員
- 1996年 同大学 教授 兼 同研究所 研究員 (2014年3月まで)
- 1998年 The Patrick E. Haggerty Distinguished Chair in Basic Biomedical Science, UTSW
- 2001年 ERATO「柳沢オーファン受容体プロジェクト」総括責任者 (2007年3月まで)
- 2010年 内閣府 最先端研究開発支援プログラム (FIRST) 中心研究者 (2014年3月まで)
- 筑波大学 教授兼任
- 2012年 筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 (WPI-IIIS) 機構長 (現任)
- 2014年 テキサス大学サウスウェスタン医学センター 客員教授 (現任)

【受賞歴】

- 2003年 米国科学アカデミー正会員に選出
- 2016年 紫綬褒章
- 2017年 エルウィン・フォン・ベルツ賞 (ベーリンガーインゲルハイム社)
- 2018年 朝日賞 (朝日新聞文化財団)
- 2018年 慶應医学賞 (慶應義塾医学振興基金)
- 2019年 高峰記念第一三共賞 (第一三共生命科学研究振興財団)
- 2019年 文化功労者
- 2022年 時実利彦記念賞 (日本神経科学学会)
- 2023年 ブレークスルー賞 生命科学部門
- 2023年 クラリベイト引用栄誉賞

【プロフィール】

1960年東京生まれ。筑波大学医学博士課程修了 (MD/PhD)、医学博士。
1988年柳沢正史は大学院在学中に、強力な血管収縮作用を持つ新規生理活性ペプチド「エンドセリン」を、1998年に睡眠・覚醒を制御する「オレキシン」を発見。これらの発見は、いずれも上市新薬の開発に直接結びついた。31歳で渡米し、24年間にわたりテキサス大学サウスウェスタン医学センター教授とハワードヒューズ医学研究所で研究室を主宰。2012年、文部科学省世界トップレベル研究拠点プログラム国際統合睡眠医科学研究機構 (WPI-IIIS) を設立。2017年、睡眠から健康をつくることを目的に筑波大発のスタートアップベンチャー企業 株式会社 S' UIMIN を起業し、2022年より代表取締役。ポケモンスリープ監修。NHK 総合「クローズアップ現代」「あさイチ」、NHK Eテレ「サイエンス ZERO」、テレビ朝日「徹子の部屋」、TBS系「情熱大陸」などメディア出演多数。

【概要】

睡眠覚醒調節の根本的な原理、つまり「眠気」(睡眠圧)の脳内での実体とはいったい何なのか、またそもそもなぜ睡眠が必要なのか等、睡眠学の基本課題は全く明らかになっていない。私たちはこのブラックボックスの本質に迫るべく、ランダムな突然変異を誘発したマウスを8,000匹以上作成し、脳波測定により睡眠覚醒異常を示す少数のマウスを選別して原因遺伝子変異を同定するという探索的な研究を行ってきた。本講演では、これらの謎に挑む私どもの探索的基礎研究に加え、ウェアラブル脳波計測とクラウドAIによる在宅睡眠測定サービス InSomnograf による社会実装研究について紹介する。